



NEXCO 東日本 - ROAD

ネクスコ東日本は高速道路をエコロードにします

横須賀エコパーキングエリアの整備

横須賀パーキングエリアが「環境にやさしい高速道路」を基本コンセプトとした「エコPA」に生まれ変わります。改修工事に伴って、太陽光発電設備、電気自動車用急速充電器、遮熱性舗装、保水性ブロックなど、各種の環境対応型技術を新たに導入します。

エコトイレ

LED照明の採用により節電を図ります。また、中水（高度処理を行った再生水）の利用と節水型便器の採用により、大幅な節水を実現します。



太陽光発電

太陽エネルギーで発電し、トイレ照明に利用します。発電能力は10キロワットです。



電気自動車用急速充電器

電気自動車を利用されるお客さまの利便性向上のため、急速充電器を設置します。



ふれあいの森

造成工事で支障となった樹木を移植しています。鳥の巣箱などを設置して、生物のすみかとなるよう工夫しています。



店舗内照明のLED化

消費電力を抑制するため店舗内の照明をLED化します。



壁面緑化

トイレ壁面の一部に植物を繁茂させ、建物内の温度上昇を防ぎ、ヒートアイランド現象を緩和します。



保水性ブロック

歩道部には保水性のあるブロックを採用し、歩道面の温度上昇を抑制。ヒートアイランド現象を緩和します。



遮熱性舗装

駐車場の一部には太陽光に含まれる赤外線反射させる遮熱性舗装を採用。路面の温度上昇を抑制し、ヒートアイランド現象を緩和します。



ビオトープ（こしみず池）

自然環境の保全のため、調整池をビオトープとして整備しています。池には過去に子どもたちが放流した地域固有種の三浦メダカが生育し、この付近の貴重な生息地になっています。

